

令和7年度 第10回市政懇談会 事前要望等回答一覧(行田地区)

No.	意見・要望等	所管課	回答
1	<p>【防災無線について】</p> <p>昨年要望を出したが、品質向上されているのか。無線以外の情報発信方法を調べたところ、条件があり一般的ではない。</p>	危機管理課	<p>防災行政無線は毎年、機器等の定期点検を行っているほか、随時、バッテリーの交換修繕を行っております。また、高層建物の建設等による環境変化や無線の放送が聞こえにくいと地域の皆様から要望をいただいた際には、スピーカーの増設やスピーカーの向きの調整を行うなど、市民の皆様確実に緊急情報が提供できるよう努めております。</p> <p>一方で気象状況や建物の機密性の高さ等により、聞き取りにくい場合がございますので、通話料無料で放送内容が確認できる防災行政無線音声確認サービスや行田市公式LINE及び浮き城のまち安全・安心情報メールなど、複数の情報伝達手段を構築しているところでございます。</p> <p>なお、防災行政無線の音量は、ボリュームが大きすぎるとのご意見もあることから、平時には音量を調節し放送しておりますが、大規模自然災害発生時には避難情報等が確実に伝わるよう、最大音量での放送を行うこととしております。</p> <p>今後も確実な情報発信に努めてまいります。</p>
2	<p>【物価高騰について】</p> <p>行田市独自の対策はあるか。</p>	企画政策課	<p>本市では、令和5年度から現金給付などの国の物価高騰対策に併せ、市独自の施策も展開しているところです。</p> <p>直近の施策で申し上げますと、令和7年3月、4月の2か月間にわたり水道基本料金の免除を行いました。</p> <p>また現在は、物価高騰等による影響を受けている市民や事業者の支援と落ち込んだ地域経済の回復を目的としてプレミアム付商品券の発売を行っているところです。</p> <p>今後も国の動向を注視しながら、効果的な施策を実施してまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
3	<p>【野良猫について】</p> <p>野良猫に餌を与える人がいて、去年は1カ所に18匹の猫がいて不気味だった。排泄物の匂いと、フンの処理が大変な時期もあった。市で対応してもらいたい。</p>	環境課	<p>市では、市報ぎょうだや市ホームページを通じて、トイレのしつけや不妊手術など適切な猫の飼い方についての周知を行っております。また、猫の飼い方やしつけについての相談は、埼玉県動物指導センター（熊谷市板井123☎536-2465）で受け付けております。</p> <p>猫による被害でお困りの方に対しましては、敷地内に入られないために、忌避剤を散布する、ネットや柵で囲う、とげ状のシートを敷く、定期的に水を撒いておくなどの対策を試していただくようお願いしております。</p> <p>その他、飼い主のいない猫対策や地域猫活動の一環として、公益財団法人どうぶつ基金の協力により、さくらねこ無料不妊手術事業を実施しております。この事業は、同基金が発行している野良猫・地域猫の不妊手術に使用できるチケットを、市を通じて希望する方に交付するものです。なお、市では不妊手術を目的とした猫の捕獲器の貸出しも行っておりますので、本事業に興味がある、またはご協力いただける場合は市環境課へご相談くださいますようお願いいたします。</p>
4	<p>【行田市駅周辺について】</p> <p>駅南口に観光案内所とレンタサイクルを設置する予定はあるか。また、観光ルートに涼や水分補給（無料で）できる場所がほしい。</p>	商工観光課	<p>行田市駅は、通勤・通学をはじめ観光客の皆様にもご利用いただいている本市の玄関口でございます。また、行田市駅周辺には、足袋蔵をはじめ日本遺産の構成資産が数多く存在しておりますので、市では、一般社団法人行田おもてなし観光局と連携し、日本遺産を核とした観光施策を行っているところです。</p> <p>現時点で行田市駅南口に観光案内所や観光レンタサイクルを設置する予定はございませんが、観光客の皆様には、観光案内所の機能を持つ観光物産館「ぶらっと♪ぎょうだ」をご案内しております。なお、「ぶらっと♪ぎょうだ」は、ワイルドナイツサイクルシェアリングのサイクルポートとなっております。</p> <p>また、市では、熱中症予防対策として「クールオアシス」や「クーリングシェルター」事業を実施しており、各公民館や商工センター、行田市役所、図書館などの施設で休憩できるほか、マイボトルの利用促進などを目的に忍城バスターミナル観光案内所や古代蓮会館、行田市役所などに「ウォーターサーバー」を設置しており、無料で給水できる取組を行っています。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
5	<p>【子育てについて】</p> <p>核家族で子育て中、夜一人で不安な時に、新潟市にあるような「夜間の子育て施設」があると安心する。行田市では無理か。</p>	<p>こども家庭センター 子ども未来課</p>	<p>核家族化が進む中で、育児に孤立感を抱える家庭が増えているという状況は、重要な課題であると認識しています。</p> <p>ご指摘いただいた新潟市にある「夜間の子育て施設」については、民間団体が開設したものであり、現時点では、本市に同様の施設はございませんが、孤立感や育児の不安を解消するため、以下のような支援を行っています。</p> <p>①子育てに関する相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんが生まれた全てのお宅に助産師等が訪問する「赤ちゃん訪問」 ・育児の心配事やお子さんの発育・発達について保健師等にご相談いただける「乳幼児相談」 ・子育て経験のある相談員による「子育て相談」や「子育て応援訪問事業」 <p>②お母さん同士の交流の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援センター「きっずプラザあおい」・「つどいの広場」 ・子育て談話室「たんぼぼ」・「赤ちゃんクラス」・「離乳食教室」 <p>③お母さんのリフレッシュや休息の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出産後1年以内の産婦さんと赤ちゃんを対象とした「産後ケア事業」 <p>これらの取り組みを通じて、保護者の皆様の不安や悩みを丁寧に受け止め、安心して育児ができる環境づくりに努めてまいります。</p> <p>なお、埼玉県では、埼玉県救急電話相談「#7119」において、急な発熱などの医療に係る相談を24時間体制で実施しています。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
6	<p>ヴェールカフェ近くの公園は、現在の状況で完成か。親子で2～3時間遊べる遊具と日影がないと、別の市町村の公園に行くことになる。もう少し充実させてほしい。</p>	<p>都市計画課</p>	<p>市では、水城公園をより魅力あふれる公園とするため、令和元年度から水城公園東側園地の再整備を計画的に進めているところです。</p> <p>これまで、複合遊具及びじゃぶじゃぶ池の設置や駐車場の整備などを実施しました。現時点で新たな遊具の設置予定はございませんが、今後は園路整備を予定しております。</p> <p>ご意見をいただきました日陰につきましては、当面の対応として簡易パラソルを設置しており、今後樹木による木陰の創出などを検討してまいります。</p> <p>引き続き、市民の皆様が利用しやすく親しみやすい公園づくりを行ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>